

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		小学部		学 年		5年	
教科等名		生活単元学習		グループ名		学年	
ねらい		・季節の行事や、植物、生き物に関心をもち、身近なことや変化に気付き感じたことを表現しようとする事ができる。 ・公共交通機関を利用する際のルールやマナーについて知り、守ろうとすることができる。 ・様々な活動を通して、自分の役割を知り、主体的に表現することができる。					
担当教員		○風間 康宏 上田 千鶴 滝沢 真心 堀口 明					
予定授業時数		158.4					
使用教科書		ひかりのくに こどものずかんMio12 きせつとしぜん					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)		指導の工夫	
4 5 6	季節探しに行こう 町探検をしよう	○	・季節の草花や生き物を調べる、探す。 ・学校周辺の施設などを知る。 ・図書館歩行	・四季に応じた草花や生き物の観察を通して、季節の変化を感じることができる。 ・学校周辺の施設の場所や利用方法に、関心をもつことができる。		・タブレット端末で草花や生き物を撮影したり、学校周辺の地図を見たりし、身近な物に興味関心をもてるようにする。	
4 ～ 10	野菜を育てよう	○	・野菜の栽培をする。 ・観察シートに記録する。	・身近な野菜を栽培し、変化や生長に関心をもつ。 ・意欲的に収穫することができる。		・タブレット端末を用い、生長の様子を撮影し、気付きを促す。	
6	遠足に行こう	○	・予定や行先を知る。 ・ヘルプマークについて知る。	・行き先、活動などの内容を知り、見通しをもって参加することができる。 ・ヘルプマークについて知ろうとする。		・日時や活動内容などを、分かりやすく提示する。	
9 12	交流をしよう		・地域の小学校の友達との交流を行う。 ・自分の役割を知り、取り組む。	・友達と一緒に、簡単なルールのあるゲームを行うことができる。 ・自分の役割に、意欲的に取り組むことができる。		・活動内容が分かりやすいように、写真カードや絵カードを使用する。	
	外国語に親しもう	○	・身近な英語を使ったゲームや、やり取りを外国人英語等教育補助員と行う。	・外国人英語教育補助員と簡単な英語でやり取りする。		・親しみやすい歌や、食べ物などを題材とする。	
9	校外学習に行こう	○	・公共交通機関や施設見学をする時などのマナーを知る。 ・クリーンセンターや、リサイクルについて知る。	・公共交通機関を利用する際のマナーを知り、守ろうとすることができる。 ・ごみの捨て方を知り、正しく捨てることができる。 ・ヘルプマークに気付くことができる。		・日時や活動内容を分かりやすく示す。 ・リサイクルやごみの出し方について、ロールプレイを行う。	
10 11 12	発表会をしよう 大道具、小道具を作ろう		・自分の役や出番、動きなどを知り、演技する。 ・友達と協力して、準備や練習を行う。	・活動内容を知り、主体的にダンスや演技などに取り組むことができる。 ・友達と一緒にできたことを喜んだり、活動を振り返ったりすることができる。		・歌やダンスなど、児童が意欲的に取り組める演技を入れる。	
12 1	移動教室にいこう	○	・友達や教員と公共の場でマナーよく過ごす。 ・宿泊に係わる係活動や自分の身の周りのことを、自分から行おうとする。	・友達や教員と公共の場でマナーよく過ごす。 ・宿泊に係わる係活動や自分の身の周りのことを、自分から行おうとする。		・手本を示したり、用具の配置を工夫したりして、手順や使い方を分かりやすくする。	
11 12 2 3	調理に親しもう	○	・買い物 ・調理時の身支度の仕方を知る。 ・野菜の皮をむいたり、ゆでたり、つぶしたりする。	・買い物の手順が分かる。 ・身近な調理器具の名前や使い方を知る。 ・エプロンや三角巾を自分で着けることができる。		・買い物の手順表を活用する。 ・調理道具を実際に見たり、使い方をICT機器で見たりする。	
通 年	手伝いをしよう		・清掃や靴洗い、洗濯の仕方や手順について知り、取り組む。	・清掃の仕方や整理整頓の仕方が分かり、自らすすんで清潔に保とうとする。 ・清掃に関わる用具の使い方を知る。		・手本を示したり、用具の配置を工夫したりして、手順や使い方を分かりやすくする。	
通 年	みんなで遊ぼう		・集団遊びを皆と一緒に楽しむ。	・遊びの中で教員や友達と関わりをもち、きまりを守って仲良く遊ぼうとする。 ・きまりのある遊びや、友達と遊ぶための知識や技能を身に付ける。		・ルールや決まりをイラストなどで示し、視覚的理解を促す。 ・徐々に教員からの補助を減らしていく。	
通 年	安全に歩行しよう		・傘の練習、横断歩道の渡り方、交通ルールを知る。	・傘の扱い方を学習し、傘をさして安全に歩行することができる。 ・交通のルールを守り、安全に歩行することができる。		・ルールや決まりをイラストなどで示し、視覚的理解を促す。 ・ロールプレイを行い学習する。	

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。